

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 YIC リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	162 単位	13 単位	
	作業療法学科	夜・通信	160 単位	13 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に公表 https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 YIC リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に公表 <https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社エムビーエス 代表取締役	2025/5/22 ～ 2029/ 定 時理事・評 議員会まで	管理・運営に関する 意見具申およびガ バナンス強化
非常勤	学校法人龍馬学園 理事長	2025/5/22 ～ 2029/ 定 時理事・評 議員会まで	管理・運営に関する 意見具申およびガ バナンス強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 YIC リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・全授業科目について授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を年度ごとに作成する。カリキュラムツリーを確認。 ・授業計画作成にあたっては、ディプロマポリシーをふまえた上で到達目標を設定するとともに、教育課程編成委員会における外部委員の意見を参考にする。学科会議を開催し、各科目において到達目標に沿った授業内容、成績評価となっていることを確認する。 ・成績評価は秀・優・良・可・不可の5段階で評価する。 ・授業計画は年度の初めに学生に配布するとともにホームページ上で公表する。	
授業計画書の公表方法	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・各学年において履修すべき授業時数の3分の2(ただし、実習においては5分の4)に満たない者については、当該科目の認定を行わない。 ・欠席理由に関し、校長が「やむを得ない理由」とであると認めた場合は、授業の補習、考査受験、再実習などを実施し、評価を受けることができる。 ・各科目について、学期末及び学年末における修得認定試験等の考査を行い、合格者に対して当該科目の認定を行う。 ・考査は、試験、論文、報告書その他の方法により行うものとする。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・学期末、学年末に単位修得試験を行い、合格者に対して単位を認定する。 ・成績評価は100点満点とし、90点以上を秀(GP4点)、89点～80点を優(GP3点)、79点～70点を良(GP2点)、69点～60点を可(GP1点)、60点未満を不可(GP0点)で表し、可以上を合格とする。 ・各学科各学年でGPAを集計して成績の分布状況を把握するとともに、適切な運営がなされるように適宜改善を行う。 ・GPAは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $\text{GPA} = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修すべき科目の総単位数}}$	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・校長は、次の各号に該当する者について、卒業判定会議を経たうえで、卒業を認定し卒業証書を授与する。 (1) 規定修業年限以上在学し、卒業に必要な単位の成績評価がすべて可以上であること。 (2) 学費および教材費が期日までに完納されていること。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 YIC リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
財産目録	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
事業報告書	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療分野		医療専門課程	理学療法学科				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	3405 単位時間	1770 単位 時間	180 単位 時間	1455 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人		97 人	0 人	6 人	56 人	62 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ・全授業科目について授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を年度ごとに作成し、学生に配布・アプリにアップするとともにホームページで公表する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・学期末、学年末に単位修得試験を行い、合格者に対して単位を認定する。 ・成績評価は100点満点とし、90点以上を秀（GP4点）、89点～80点を優（GP3点）、79点～70点を良（GP2点）、69点～60点を可（GP1点）、60点未満を不可（GP0点）で表し、可以上を合格とする5段階表にて評価する。 ・考査は、試験、論文、報告書その他の方法により行うものとする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・校長は、次の各号に該当する者について、卒業判定会議を経たうえで、卒業を認定し卒業証書を授与する。 （1）規定修業年限以上在学し、卒業に必要な単位の成績評価がすべて可以上であること。 （2）学費および教材費が期日までに完納されていること。	

学修支援等
(概要) ・初年次教育を促進するとともに、小グループ学習・個別指導などを通してきめ細かい学習支援を実施する。また、e-ラーニングシステムを利用した国家試験対策・問題配信等を実施。 ・年間２回実施するアンケート（勉強・生活）を基に面談を実施し、個別学習が必要と考えられる学生については、個別に学習支援をする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	23 人 (82.1%)	5 人 (17.9%)
(主な就職、業界等) ・医療機関、福祉施設等			
(就職指導内容) ・個別相談、業界情報提供、履歴書、面接指導、学院本部キャリアサポート室による支援等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・理学療法士国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項） 2026 年 5 月 1 日現在			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
106 人	6 人	5.7%
(中途退学の主な理由) ・進路変更、学業不振、等		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・初年次教育の促進、担任制、小グループ担当制、定期的個別面談、進路相談、QU（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の実施およびそれに基づく面談、学院本部総合支援室との連携（学生相談の活用）、基礎力リサーチにて入学前の学力を把握、等		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療分野		医療専門課程	作業療法学科				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	3400 単位時間	1650 単位 時間	300 単位 時間	1450 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100 人		52 人	0 人	7 人	44 人	51 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ・全授業科目について授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を年度ごとに作成し、学生に配布・アプリにアップするとともにホームページで公表する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・学期末、学年末に単位修得試験を行い、合格者に対して単位を認定する。 ・成績評価は 100 点満点とし、90 点以上を秀（GP4 点）、89 点～80 点を優（GP3 点）、79 点～70 点を良（GP2 点）、69 点～60 点を可（GP1 点）、60 点未満を不可（GP0 点）で表し、可以上を合格とする 5 段階表にて評価する。 ・考査は、試験、論文、報告書その他の方法により行うものとする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・校長は、次の各号に該当する者について、卒業判定会議を経たうえで、卒業を認定し卒業証書を授与する。 （１）規定修業年限以上在学し、卒業に必要な単位の成績評価がすべて可以上であること。 （２）学費および教材費が期日までに完納されていること。	
学修支援等	
（概要） ・初年次教育を促進するとともに、小グループ学習・個別指導などを通してきめ細かい学習支援を実施する。また、e-ラーニングシステムを利用した国家試験対策・問題配信等を実施。 ・年間 2 回実施するアンケート（勉強・生活）を基に面談を実施し、個別学習が必要と考えられる学生については、個別に学習支援をする。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	14 人 (87.5%)	2 人 (12.5%)
（主な就職、業界等） ・医療機関、福祉施設等			

(就職指導内容) ・ 個別相談、業界情報提供、履歴書、面接指導、学院本部キャリアサポート室による支援等
(主な学修成果(資格・検定等)) ・ 作業療法士国家試験受験資格
(備考) (任意記載事項) 2026 年 5 月 1 日現在

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58 人	3 人	5.1%
(中途退学の主な理由) ・ 進路変更、学業不振、等		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・ 初年次教育の促進、担任制、小グループ担当制、定期的個別面談、進路相談、QU(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の実施およびそれに基づく面談、学院本部総合支援室との連携(学生相談の活用)、基礎力リサーチにて入学前の学力を把握、等		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理学療法 学科	400,000 円	900,000 円	200,000 円	教材費として 350,000 円 (実習費含む)
作業療法 学科	400,000 円	900,000 円	200,000 円	教材費として 350,000 円 (実習費含む)
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）
年 2 回、学校関係者評価委員会を開催し、重点項目取り組み、自己点検評価結果の報告を行うとともに、改善に向けた検討を行う。 学校経営改善に向けての努力点（＝自己評価項目）として、以下に示す大項目を設定し、さらに、各項目に対応する複数のチェック項目（記載-略）を設定した。 教職員（学校）は、これらの実現・適正化に努め、その結果を検証し、一層の学校改善を進めるものとする。（PDCA） 1) 主な評価項目 (1) 教育理念・目的・目標 (2) 教育課程、教育の実施、学修成果 (3) 学生の受入れ学生支援 (4) 教育実施組織・教員 (5) 教育環境 (6) 教育活動の基盤と改善・向上の取組 ＜評価結果の活用方法（評価結果を踏まえた改善方法の実施時期及び責任者）＞ 評価結果については、校長を責任者として検証会議を開き、重点的な課題として改善策を策定し、月毎に達成状況の点検を行いながら適正化を図る。 ＜点検項目の評価＞ 評価は（「1」基準を満たさず 「2」基準を満たす 「3」基準を上回り、特筆すべき取り組みを行っている）の 3 段階で行う。 学校自己評価委員会で取りまとめた自己評価結果は関係資料とともに学校関係者評価委員会に提出し、学校評価（3 段階）を受ける。各評価項目に対する評価結果及び改善意見に基づき、次年度に向けて、学校運営・教育活動の内容・学生支援体制等を見直し、新たな学校改善計画を策定（～3 月末）・実施（4 月初-学校経営方針として定め、

周知・徹底)する。		
2) 評価委員会の構成 委員の定数：5名以上 委員の選出区分：保護者1名、卒業生2名、企業1名、有識者1名		
3) 評価結果の活用方法 ・学校自己点検・評価結果を分析して課題を明確化し、次年度の重点項目を作成し、校務会議(校長・副校長・事務長・校務の長・教務の長・学科長で構成)で検討し、決定。職員会議にて全教職員で共有する。		
〈2025年度の重点項目〉 1) 定員充足 2) 国家試験合格率100%達成、国家試験対策教育の充実 3) 教育の質向上 4) 国際交流 ・重点項目の取り組みについては校務会議、職員会議で報告し、適宜計画修正実施を行っている。 ・学校関係者評価委員会にて、該当年度の評価について報告を行い、気付きや意見をいただき改善に反映させている。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
保護者	2025/4～2027/3	保護者
山口大学医学部附属病院	2025/4～2027/3	卒業生 (理学療法学科)
宇部中央病院	2025/4～2027/3	卒業生 (作業療法学科)
老人保健施設 ニューライフあじす	2025/4～2027/3	地元企業関係者
医療法人社団 生和会 周南リハビリテーション病院	2025/4～2027/3	有識者
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/		
(備考)		
第三者評価未実施。第三者評価を令和8年12月に実施予定。現在は学校関係者評価にて代替。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/rh/
--